



新型コロナウイルス・インフルエンザ予防接種無償化について

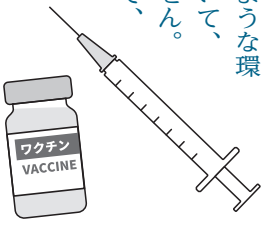
無党派 さの るみ

問 コロナワクチンは現在さまざまな問題が出ており、国では厚労省の担当者が感染予防効果、重症化予防効果のデータはなく、審査中と回答しています。前回の市長の答弁でも市で検証をした事実はなく知り合いのお医者さんのお話を引用しただけのことでした。調べもせず、検証もしない、何の根拠もないことをあたかも効果があるかのよう

に市民に周知されるのは大変問題ではないでしょうか。
答 (保健福祉部長)：国では、感染症の疫学的な状況や、国内外の科学的知見に基づいて、ワクチンの重症化予防効果などが認められるとこのことで法に基づく定期接種となりました。また、国立感染症研究所や医療機関などから成る研究班の報告では65歳以上の発症予防の有効性や60歳以上の入院予防の有効性が示されており

問 定期接種は自治事務となり、市民へ明確な説明をする責任が市にあります。実際には全然情報を持っていません。ワクチンはいいものという思い込みだけで今回、国に言われても無い無償化にまで踏み切るといことは、この現状において新たな健康被害を生み出す懸念があります。昨日の一般質問でも市長は高齢者の方の安心安全のため無償化の方針を示したと言っていました。根拠が何もなく現在、前代未聞の健康被害が出ている中でよくその発言ができるなどあぜんとしています。公式の場でそのような発言をするということは、市が責任を持つということか伺います

答 (保健福祉部長)：接種を希望する方が、自己負担額の発生により接種を控えることがないような環境整備のため自己負担を無料としていて、接種を推奨しているわけではありません。予防接種法に基づく定期接種ですので、法の定めによる市の責任を果たしてまいります。



市民の免疫力を強化する 市の取り組みについて

政進会 葉梨 之紀

問 コロナ禍でもそうでしたが、健康に過ごすためには腸内環境を整えて免疫力を強化することが大切です。免疫とは体内に侵入したウイルスなどの異物を攻撃、排除して体を守る仕組みで、免疫細胞が血液やリンパの流れに乗って全身を巡り、異物の侵入を常にパトロールしています。この免疫細胞が活性化し過ぎて暴走することがあり、これが新型コロナウイルス感染症を重症化させる原因です。

暴走を防ぐ上で重要なポイントは腸です。腸内には全身の免疫細胞の約7割が集結し、免疫細胞の暴走にブレーキをかける制御性T細胞も多く存在しており、免疫力は腸内環境に支えられていると言っても過言ではありません。朝食をしっかり取り、運動をして、しっかりと眠り、今を楽しくというシンプルですが健康的な日常生活こそが、腸内環境を整えて免疫力を高める上でとても大切です。

そこで、市民の免疫力を強化するには、市としてどんな取り組みが必要と考えているのか伺います。
答 (市長)：日常の心掛けで免疫力は高められますので、三師会や民間企業とも連携し、健康に関する協定を結ぶなどさまざまな事業を展開していきたいと考えています。

答 (保健福祉部長)：日常生活の中で免疫力を高める生活習慣の実践は極めて重要なことから、市では、三師会や民間企業との連携協力による健診やPR活動の実施、日常の運動習慣の実践のための健康マイレージの実施、健康えびな普及員会や食生活改善団体えびな会などによる健康や食生活改善に関する普及啓発活動を実施しています。

その他の質問

・ペットと暮らしやすいまちづくり
くまのこども



(仮称)障がい者ケアセンターについてなど

公明党 星 伸一

問 (仮称)障がい者ケアセンターについて現在の進捗状況および利用者家族との話し合いについて伺います。
答 (市長)：令和6年12月までに設計を行い、令和8年度中の竣工を目指して進めています。建設にあたっては障がい者福祉関係団体、わかばケアセンターの関係者や利用者家族の皆さんから意見を伺い、よりよい施設を建設してまいります。

答 (保健福祉部長)：施設の設計を進めるにあたり、わかばケアセンターの利用者家族を対象に、設計業者も同席して説明会を行い、模型を示しながら意見を交換したほか、わかばケアセンターの支援員からも意見を聴きました。利用者の動線や発災時の避難方法など、伺ったさまざまな意見をレイアウトや設備に反映した模型を作り直し、6月にまたお見せする機会を設けたいと考えています。

問 熱中症対策、CO2削減に向け、意識啓発と可視化ができる、マイボトル利用の無料給水スポットとしてウォータークーラーの設置が有用と考えますが見解を伺います。
答 (経済環境部長)：ウォータークーラーの設置については、熱中症対策だけでなく、ペットボトル削減の効果もありますが、費用面における事業継続性も含めて総合的な判断が必要であると考えています。

問 フリースクールなどの利用料補助の詳細を伺います。
答 (教育支援担当部長)：フリースクールなどの利用料も増えていることから、負担軽減に向け、利用状況などを鑑みて月額授業料の2分の1、上限1万5千円を補助します。今年の4月1日にさかのぼって適用していく予定です。

